

西尾市議会報告会

文教交流委員会（子ども部、交流共創部、教育委員会事務局）

次第

1. 生涯学習センター（仮称）
2. 小学校プール全体計画
3. 放課後児童クラブの業務の一部を民間委託

委員長：松井晋一郎 副委員長：牧一心

委員：永山英人、前田修、渡辺信行、磯部雅弘、杉浦功記

①生涯学習センター（仮称）

(1)事業に至る経緯

- ・ 中央ふれあいセンターとアクティにしおの老朽化と統廃合により建設計画が立てられる。
- ・ 多目的複合施設としての利活用が目的。
- ・ 総事業費約23億円、国交省補助金約6億円を見込む。



①生涯学習センター（仮称）

(2)施設の設計と機能

- ・約2700m²延床面積の建物を計画

【施設の機能】

1. 地域交流センター機能
2. 総合教育センター機能



①生涯学習センター（仮称）

(3)スケジュール

設計業務の完了: 令和6年度

整備工事: 令和7年度～8年度

全面供用開始: 令和9年度

①生涯学習センター（仮称）

(4)市の考える効果

- A. 子ども同士や親子がワクワクしながら遊び、交流できる空間の提供
- B. 幅広い世代にとって心の安らぎを感じられる居場所の提供
- C. 共生社会実現のために全世代の市民が集う多様な学び、交流の場の提供
- D. 利用者が増え、支援拠点が手狭なあゆみ学級、コンパスの環境改善

①生涯学習センター（仮称）

(4)委員から出された考え・意見

- ・ 省エネと創エネを組み合わせるZEB（ゼブ）を検討していくべき。
- ・ 統廃合により述べ床面積が削減されるが、運営費にかかるコストの検証が必要。
- ・ 建設費と維持管理費全て税金で賄うには財政負担が大きいので、施設利用料など収益構造を設定すべき。

② 小学校プール全体計画

【小学校プール管理運営基本方針】

小学校の水泳授業については、速やかに温水プールへの移行を目指す

【背景】

- ・ 老朽化が進む市内の小学校プールのすべてを新しくする場合や、温水プールを新たに建設し水泳指導支援を委託して通年で水泳授業を行う場合などのコスト比較
- ・ 先行して温水プールで授業をしている学校の声や温水プール利用のメリット
- ・ 義務教育の公平性、全ての子どもたちに質の高い水泳指導を保証

② 小学校プール全体計画

【市が考える効果】

- ・ 小学校プールのすべてを新しくするよりも、温水プールを新たに建設し水泳指導支援を委託して通年で水泳授業を行う方がコスト面で優位（50年間で約35億円コストを抑制）
- ・ 天候や季節に左右されない安定した学習環境
- ・ 専門インストラクターによる指導により、安全管理・支援体制の充実
- ・ 学校プール管理が不要となり、教員その他職務従事が可能

◆温水プールを新たに建設し水泳指導支援を委託した場合のコスト

【水泳指導支援の民間委託費用】

50年間 約40億円

1年間 約8100万円

【新たな温水プールの建設費用・維持管理費用】

50年間 約42億円

1年間 約8400万円

【合計】 50年間 約82億円

1年間 約1億6500万円

② 小学校プール全体計画

新屋内温水プール整備構想

【利用計画】

平日午前は「学校プール（水泳授業）」、
その他の時間は「一般開放」

【建設候補地】

旧一色町役場跡地

【供用開始】

令和 1 1 年度（民間が整備）

または令和 1 2 年度（市が整備）



② 小学校プール全体計画

委員から出された考え・意見

- ・ 基本構想の検討時に整備検討委員会にて候補予定地の周辺の交通状況も併せて検討すべき。
- ・ 一色・吉良・幡豆3町の児童も、西尾地区の児童と同様に、インストラクターによる水泳指導を受けることができれば望ましいが、市の財政計画や環境対策など、十分な検討を重ね計画するべきである。
- ・ 新温水プールの建設ありきの計画と思えてならず、ハコモノ行政に傾き、財政を圧迫しないか懸念する。
- ・ 温室効果ガス、移動時間、送迎ドライバー確保・インストラクター確保など、多くの問題を危惧する。

③放課後児童クラブの運営の一部を民間委託

(1)事業概要

背景: 共働き世帯の増加に伴う利用者数の年々の増加と、支援員不足

現状: 放課後児童クラブは市内26カ所、開所時間最長18時30分

変更点: 令和7年度より一部民間委託を開始、開所時間を19時までに延長予定

目的: 支援員確保が追いつかず、柔軟な運営を実現するため



③放課後児童クラブの運営の一部を民間委託

(2)市の考える効果

- A. 効率性の向上: 民間企業は直営に比べ運営効率に期待できる。
- B. 人材の確保: 民間事業者による柔軟な雇用、専門知識のある人材育成が可能と考える。
- C. サービス品質の向上: 競争原理による高品質サービスの提供。
- D. 利用者満足度の向上: 多様なニーズに応じたプログラムの提供。

③放課後児童クラブの運営の一部を民間委託

(3)委員から出された考え・意見

- ・待機児童の解消を第一に考え、支援員の確保、質の向上、他自治体の状況などから判断すると運営業務の一部民営化はやむなしと考える。
- ・市が募集する会計年度任用職員の待遇では、応募されなくなっていることを直視し、給与・福利厚生を引き上げるべき。
- ・市の直営で行ってきた事業を「人が集まらないから」と十分な検討も尽くさず、3000万円も余計な経費をかけて委託することは賛成できない。
- ・民間委託をするにしても全て一事業者に任せるのではなく、比較検証できる形で進めるべき。

ご清聴ありがとうございました。

文教交流委員会

今回は、予算規模の大きな事業を報告しました。

議会内でも賛否分かれる内容もあり、今後議論を尽くしていきます。

皆様からも積極的にご意見をいただけたら幸いです。